

つくば国際戦略総合特区 [指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

### I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(3.7 + 3.3) / 2 = 3.5$

3.5

#### i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	ライフイノベーション・グリーンイノベーションの推進による産業化促進	224%	5
2	次世代がん治療(BNCT)の開発実用化	0%	1
3	藻類バイオマスエネルギーの実用化	152%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 2 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 1) / 3 = 3.7$

3.7

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

#### ■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

#### ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.3

### II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値  $(3.8 + 2.5 + 4.0) / 3 = 3.4$

3.4

#### i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.8

#### ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.5

#### iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.8

- ・新計画移行後の初年度であるが、規制緩和や調整費等の積極的な活用により、ある程度の成果が出ている。
- ・規制当局との協議の結果、「現行法でも実施可能」との見解が示された事業に関しては、特区側で事前に規制関連の法令を読み込み体系的に整理をした上で、当局との協議による時間的ロスを回避することが大切ではないか。その上で、法令に抵触しないと判断した場合には、果敢に新規事業に着手すべきではないか。
- ・産業化促進や藻類バイオマスなど着実に実績が上がっている事業と、次世代がん治療など実績が上がっていない事業の差が極端である。その意味で事業計画の再検討が必要ではないか。
- ・(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構の複合的、総合的な成果についての説明も期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.8

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.5 + 3.4 + 3.8 \times 2) / 4 = 3.6$

3.6

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。